

広報

たつごう

2019

令和元年 8月号

第183号

龍郷町議会だより

特集

鹿児島県龍郷町食生活改善推進員連絡協議会

「私達の健康は私達の手で」

令和元年度

龍郷町職員採用候補者試験

連載
好評

たつごうエッセイ
コンテスト入賞作品

母子・父子の日常生活支援

鹿児島県龍郷町
食生活改善推進員連絡協議会「私達の健康は
私達の手で」

「龍郷町食生活改善推進員」という言葉を聞いたことはありませんか？言葉に馴染みがなくても、ピンクのエプロンを着たお母さま達といえばピンとくる方もあると思います。龍郷町食生活改善推進員さん（以下、食改さん）は「私達の健康は私達の手で」をスローガンに、食生活に関する助言や、レシピの公開、料理教室等をボランティアで活動している団体です。龍郷町には現在14名の会員がおり、積極的に活動しています。食改の皆さんは活動の中で学んだことを活かし、まずは自分の健康のために実践し、家族の健康管理を行うことはもとより、お隣さん、お向かいさんに、さらに地域の住民にと広げることにより、地域での積極的な健康づくりに取り組んでいます。

先日りゅうがく館で行われた婦人会の料理教室では、3名の食改さんが講師



を務めました。平日の夜にも関わらず、約40名の参加者が集まり、豚飯おこわ、大福（2種）、地豆腐、もずく天ぷらの4品を参加者と一緒に調理しました。

「この粉が一番おすすめなの」

「塩豚は2、3回塩抜きしたほうがいいのよ」

と、地域ならではの会話を交えながら、皆さんとっても楽しそうに作業をすすめ、1時間半程度の時間であつという間に完成しました。このような活動を通し

て、食改さんからお隣さん、お向かいさん、地域の住民へと健康づくりの輪が広がっていくのだと感じました。

また、別の日には大勝小学校家庭教育学級において、郷土料理の講師を食改さんが務めました。

「今日は5人のばあちゃん達が、鶏飯や、がじゃ豆、地豆腐の作り方を教えるにきましたよ。」

「私の孫は〇年生と、〇年生にいるのよ。」



「え〜〇〇くんのおばあちゃんだ。」
「昔はね、黒糖は貴重品だったから、なかなか食べられなかったのよ。」
「こんなにおいしいのにな〜。」
地豆腐が固まっていく工程を見て「わあ。」
と驚いたり、黒糖を多少焦がしながらも一生懸命がじゃ豆を混ぜたりする子どもたち。食改さんはレシピを教えてくれるだけでなく、作る楽しさや文化、食の大切さも伝えているのだと感じました。

今年5月、県は2019年度の栄養関係者功労者6名への知事表彰を行い、そ

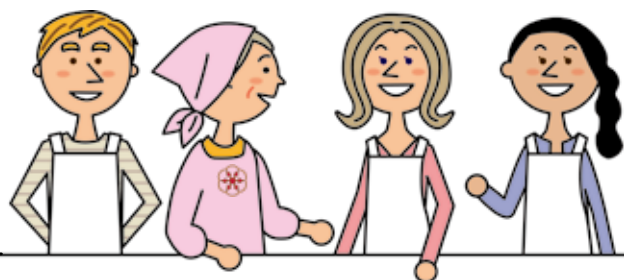


龍郷町食生活改善推進員 14名

敬称略五十音順

岡江和代(龍郷) 且恵美子(中勝) 河波弘子(芦徳) 里原郁子(赤尾木) 豊山佳代子(赤尾木) 中須イチ子(嘉渡) 平島佐津代(瀬留) 広瀬次子(安木屋場) 美里賀津子(龍郷) 村上早苗(龍郷) 森福子(中戸口) 柳田明子(玉里) 山田洋子(大勝) 豊幸子(龍郷)

の中の一人に食改の村上早苗さん(龍郷)が選ばれました(左写真前列中央)。村上さんは同会長を 25年間務め、また同町の県立大島養護学校で長きにわたり「郷土料理調理実習」を行ってきた事が高く評価されました。村上さんは「地域のみんなで頑張ってきた成果だと思います。今後もちよつとした工夫のできる減塩方法や、野菜を多く取れるレシピ等を多くの人に伝えたい。」と笑顔で語ってくれました。



全国食生活改善推進員団体連絡協議会シンボルマークの由来

目を細めてよくこのマークをご覧下さい。白い色に焦点をあわせて見ていると頭を真中に寄せ手をつないで、スクラムを組んでいる婦人の姿が見えます。栄養教室の学習をととして知識や技術を身につけた婦人が集い、足もとは無限に広がりをもって地域に向いてます。赤い色に焦点をあわせてみると六つの花弁をもつ花に見えます。これは主婦の愛情を表現すると同時に「六つの基礎食品」をも意味しています。

「私達の健康は私達の手で」の合い言葉のもとに、よい食事のパターンがすべての人々に浸透するよう自主的地域活動を行っている、私達栄養教室修了者の共通の目標を象徴したのがこのシンボルマークです。



6/
9、16龍郷町スポーツ少年団
水泳競技18年、15年ぶりの大会新記録

6月9日から町内各スポーツ少年団で交換大会が行われました。大会結果は下記の通り。

バレーボール大会①戸口②龍郷③赤徳

水泳大会【大会新記録】男子100m自由形 山田隆継(大勝小6) 1'12"39 以前の記録1'14"88(H16)



男子50m平泳ぎ
俵幸平(大勝小6) 41"70 以前の記録42"26(H13)
ソフトボール大会
雨天により中止

6/
21児童発達支援施設センター「聖隷かがやき」
早期に身近な場所で質の高い支援

聖隷かがやきの新施設が手広地区に完成し、7月1日より運用を開始しました。竣工式で町長は「早期に身近な場所で質の高い支援ができることは、大変喜ばしいことです。」とあいさつしました。同センターはこれまで久場集会場を利用し、支援を行ってきまし



た。赤塚所長は久場集落への感謝を伝え「これからも地域との関わりを大切にしていきたい」と述べました。

6/
28令和元年度第1回たつごうみらい会議
提言した内容の進捗状況を確認

今年度1回目となる同会議では、座長に町田酒造(株)代表取締役社長の中村安久氏、副座長に子育て世代代表(町議会議員)の圓山和昭氏が選任されました。昨年度龍郷町へ提言した内容について、担当課から現在の対応状況や進捗状況が説明され、



その後質疑応答が行われました。今後は分科会が組織され新たな提言について協議が行われます。

7/
1社会を明るくする運動
ご理解、ご関心、熱いエールを

7月の「社会を明るくする運動」強化月間を前に、6月27日役場第一会議室にて内閣総理大臣、県知事からのメッセージ伝達式が行われました。奄美駐在官事務所保護司官の梁瀬次郎氏は「この機会に保護司会の活動を周知し、皆様のご理解、ご関心、熱いエールをいた



だければと思います。」と伝えました。7月1日には北大島保護司会龍郷支部のメンバーが町内一円で街頭キャンペーンを行いました。

7/
5鹿児島県障害者技能競技大会
大島地区の代表として

第42回鹿児島県障害者技能競技大会アビリンピックへ、大島地区予選を勝ち抜き出場を決めた大島養護学校の生徒2名が町長へ表敬訪問に訪れました。「大島地区の代表として精一杯頑張ります。」と抱負を述べると、町長からは「日頃の練習の



成果を十分に発揮できるよう気負うことなく頑張ってください。」と激励の言葉が送られました。

7/
5防衛功労、瑞宝双光章を受章
現地の人にやさしくしてもらい嬉しかった

政府はこの度第32回危険業務従事者叙勲を発表し、龍郷町の泉健一氏(川内)が防衛功労、瑞宝双光章を受章しました。泉氏はこの日、町長室を訪問し、受賞を報告し、町長はお祝いを伝えました。泉氏は平成4年、カンボジアでPKOに従事。「自衛隊は日ごろ訓練



ばかりだが、PKOを通して人々の役に立つことができ大変うれしかった。」と当時のことを振り返りました。

令和元年度

龍郷町老人クラブ連合会主催

グラウンドゴルフ大会

令和元年7月7日(日)

ワークセンター
グラウンドゴルフ場

●団体戦

優勝 大勝 A	330 打
2位 大勝 B	334 打
3位 赤尾木 A	335 打

●個人戦

優勝 山田明広	53 打
2位 西治忠幸	55 打
3位 平田利和	56 打

●ホールインワン
(各ホール1番)

池勝子(芦徳)
里エツ子(手広)
長井幸生(円)
前多勝夫(瀬留)
庵崎京子(嘉渡)
川野寛(玉里)
瀧信勇(赤尾木)
坂元好也(手広)
竹田辰子(龍瀬)

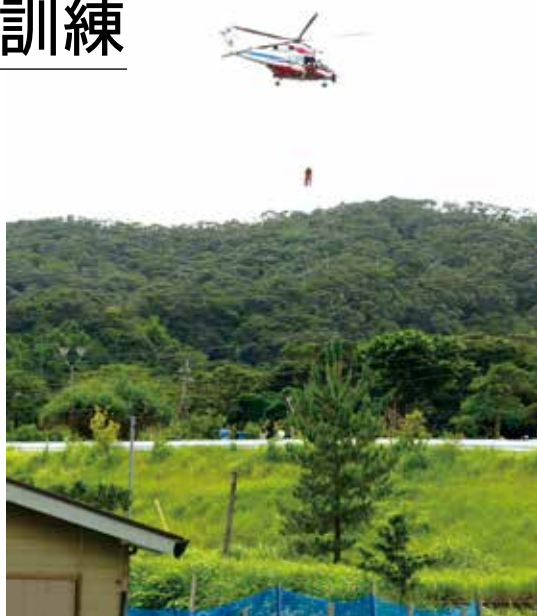


大島地区消防組合龍郷消防分署

防災ヘリを使った初の防災訓練

2019.7.7

7月7日、町グラウンドとりゅうゆう館で行われた防災訓練では、県防災航空センターから防災ヘリ「さつま」が初参加。豪雨災害により、孤立集落が発生したことを想定し、地上約40mから救助隊員が降下、病傷人役を救助する訓練を行った。今回の訓練を計画した警防係の前田一さんは、「平成22年奄美豪雨時には、土砂崩れによるけが人を海上搬送した例があった。集落が孤立した場合、空からの防災ヘリでの搬送をも考慮されるので今回の訓練を計画した。今回の訓練を活かしながら今後も災害に備えます。」と語りました。



上空から孤立集落を確認



1 時間半ほど訓練が行われた



訓練後、機体展示が行われた



降下訓練を行った隊員



訓練を見学する人たち



消防団など 55 人が参加

第5回
たつごう
エッセイ
コンテストテーマ
大島紬学生の部
優秀賞

ばあちゃんの白大島

龍郷町幾里 圓山 寿来

大島紬と一言で言っても、その種類はいろいろだ。一番有名なのは、龍郷柄だろうか。四角い枠の中に、赤いもよう。となりの集落の嘉渡(かど)が、発祥の地だと言われている。そして、秋名と言えば秋名バラ。バラはバラでも花ではない。



サンバラというかこのもようが描かれている。「寿来、がんばれ、負けるな。」

せっかくおめかしをして着た白大島なのに、ばあちゃんは、必死になって僕の相撲のおうえんをしている。

「はっけよい、のこった、のこった。」

こしを低くして、全身の力をこめて、相手にぶつかる。

「西の勝ち。」

やった。勝った。ばあちゃんを見ると、手をたいて、喜んでいる。今日は、敬老会。おめかしをして、白大島を着たばあちゃん。

「勝って、ばあちゃんが喜んでよかったね。」

母が、ほめてくれた。

「ばあちゃん、それ、大島紬なわけ。」

よく見ると、着ものには細かなもようがびっしりと織り込まれている。

「そうよ。」

嬉しそうに笑うばあちゃん。

「よく気付いたね。これはね、白大島って言うんだよ。」

そうか。これが白大島なんだ。聞いたことはあったが、実際に目にしたのは、初めてだった。

一般・高校の部
優秀賞

島娘の一生

鹿児島県鹿児島市 牧田 恵



僕は、秋名で生まれ、秋名でくらしている。海があつて、山があつて、田んぼがあつて、それが当たり前。海では魚釣り、山ではハブ捕り、田んぼでは米づくり。そんな当たり前の風景と同じように、当たり前前に大島紬はいつもそばにあった。お祝いするとき、祭りのとき、じいちゃんばあちゃんは、決まって大島紬を着る。

一枚の写真がある。小学生だった私が、祖母の家の裏山で撮った写真だ。抜けるような青空の下、ピンと張られた銀色の糸を前に、満面の笑みで立つ祖父が写っている。大島紬の糸を天日で乾かしているのだ。

祖母の家に行くと、私はいつも祖父の周り

—第5回たつごうエッセイコンテスト「大島紬」—

をうつろうしていた。小さなマス目が並んだ方眼紙に、菱形や花模様様の紬の図案を描いていた。泥の中に糸を潜らせたり、飴色の織り機に糸を張ったりする祖父の姿をよく覚えている。祖父の家には二台の織り機があり、二人は毎日機を織っていた。足を交互に動かし、縦糸の隙間に、するりと滑車のついた横糸を走らせ、指先で柄を合わせる。トントンという小気味いい簾の音を聴きながら、アイスキャンデーを食べたり本を読んだりする時間が好きだった。

私が中学生になった頃、ずっと自宅で仕事をしていた祖父が、町の大島紬工場に通いだした。川沿いに新しく出来たその工場には、何人もの機を織る人たちがいて、ラジオの音や笑い声が絶えず、あのトントンという簾の音がいつも楽し気に響いていた。

高校を卒業してすぐ、私は島を出た。久しぶりに島に帰ると、町が小さく見えたが、青い空と海は一段と広く輝いていた。成人式の日、私は初めて大島紬を着た。世界でたった一枚の祖父の作った大島紬だ。流れるような花柄で、赤や紫の丸い蕾がアクセントになっている。飛び上がりそうに嬉しくて、同じく大島紬を着た同級生に

自慢した。どの晴れ着よりも祖父の作った大島紬が完璧だと思った。

結婚するときも私はその大島紬を着た。紬は普段着で婚礼には向かないとインターネットには書いてあったが、私にとっては紛れもない一張羅で、それ以外は頭に浮かばなかった。

今、あの紬工場はなくなり、祖父も祖母ももういない。十数年後、私は六十歳になる。還暦祝いの席で、祖父の作った大島紬を着て、二十歳の頃のように笑えたらとても素敵だ。

エッセイコンテスト作品集

■第4回「西郷さん」

■第5回「大島紬」

一冊 **200** 円龍郷町役場
企画観光課にて
販売中

次回テーマは・・・

どちらか1つのテーマを選んでください

「黒糖・サトウキビ」「奄美の海」

募集部門 小・中学生部門(小学5年生以上)／高校・一般部門

募集資格 小学・中学・高校・専門学校生は奄美群島内居住者に限る

原稿枚数 原稿用紙2枚(800字)以内

賞 最優秀賞／優秀賞／佳作／特別賞

副賞 最優秀賞 高校・一般10万円／小・中学校1万円分図書カードほか

募集期間 令和元年7月1日～令和元年9月末 **必着**応募・問合せ **たつごうエッセイコンテスト実行委員会**(龍郷町役場企画観光課内)

〒894-0192

鹿児島県大島郡龍郷町浦110番地

☎ **0997-69-4512** Fax **0997-62-2535**✉ koho@town.tatsugo.lg.jp

「歴史と文化をつむぎ未来へつなぐまちづくり」に取り組む龍郷町は、今年も「たつごうエッセイコンテスト」を開催します。全国各地から、皆さんの心温まる作品をお待ちしております。

応募方法、応募上の注意、審査について等、詳細は町HPもしくは次号「広報たつごう7月号」を**ご確認の上ご応募ください。**

あなたのお店に 消火器は ありますか？



2019年10月1日～

糸魚川市大規模火災（2016年12月22日／写真提供：糸魚川市消防本部）

火を使用するすべての飲食店に 消火器の設置が必要となりました。

飲食店

火を使用する
設備又は
器具がある？



はい

設置義務あり※

いいえ

設置義務なし

※ 以下の装置があれば消火器の設置は免除できます。

- 調理油過熱防止装置
- 自動消火装置（火災を感知し消火薬剤で自動消火するもの）
- その他の危険な状態の発生の防止および発生時における被害を軽減する安全機能を有する装置（例：圧力感知安全装置）

○ 調理油過熱
防止装置

× 立ち消え防止
安全装置



ガスコンロ



一般財団法人

日本消防設備安全センター

問合せ先：龍郷消防分署予防係
0997-62-2611

龍郷町 議会だより

発行 / 龍郷町議会

編集 / 議会だより編集委員会

〒 894-0192

大島郡龍郷町浦 110 番地

T E L 0997-62-3111 (内線 232)

F A X 0997-62-2535



本町で開催された第 62 回奄美群島市町村議会議員大会・議員研修会（りゅうゆう館）

第 1 8 3 号

令和元年第 2 回定例会

- ・ 一般質問（5 名が登壇）・・・・・・・・・・ 11 ～ 15 ページ
- ・ 議決結果 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16 ページ

町政を問う 一般質問



一般質問とは…

各議員が住民の代表として、町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、町当局の考え方や疑問点をたずねることです。

単に疑問を解消し、事実関係を明らかにするだけでなく、現行政策の見直しや新規政策を提言する議員の重要な活動です。

本町議会の質問時間は、1人60分以内となっています。

P11

圓山 和昭 議員

①改正奄振法について

P12

田畑 浩 議員

①観光振興について
②イノシシ防護柵について

P13

徳永 義郎 議員

①地域経済振興について
②福祉行政について
③地域振興について

P14

平岡 馨 議員

①安全対策について
②避難所の環境対策について
③介護認定の在り方について
④紬のPRについて

P15

伊集院 巖 議員

①農業振興について
②総合運動公園の整備について
③ふるさと納税について

※掲載内容については、
質問者が質問と答弁を要約し、
龍郷町議会広報委員会が編集
したものです。



圓山 和昭 議員

改正 奄振法について

問

2014年度～2018年度の奄振法・奄振予算における本町の取組みと成果評価は。

答（町長）

公共事業では社会資本整備総合交付金や防災・安全交付金を活用した町道整備や農業農村整備など。

平成26年度より非公共事業を実施する奄美群島振興交付金が創設され、観光施設整備や観光ガイドブックの製作を行い、引き続き集落観光案内看板の整備や秋名・幾里地区における民泊飲食拠点施設の整備を予定しております。

評価については大型事業

の安定的な財源の確保、市町村の特色を活かした非公共事業実施の為に重要な支援・補助であると考えております。

問

今後5年間の取り組みは？

答（町長）

今後5年間は、国においては同等規模の支援を行っていたらどうか、離島航空・航路運賃軽減事業の対象者の拡充、農林水産物・加工品の輸送コスト低廉化のための新たな拡充支援策も盛り込まれている。ハード・ソフト両面において計画的な事業実施に努め、奄美群島広域事務組合において策定した奄美群島成長戦略ビジョンに記載されている基本方策の「人材の確保・育成」や「市場の拡大」等に基づき、「農業」「観光」「交流」「情報」の重点分野を軸に施策の展開を図ってまいります。

問

奄振を活用しての施策をする時に、立案から執行まで

のプロセスとその期間は。

答（町長）

広域事務組合への個別事業案提出からヒアリング、県・国による各ヒアリング等を経て事業費調整が行われ、翌年度に事業実施される。事業の要望から実施までに概ね1年2か月はかかる。

問

産業振興促進計画認定制度に基づく特例制度の活用実績は。

答（町長）

奄振法延長に伴い、同計画を6月中に新たに策定する手続きに入っている。同計画策定により製造業・旅館業・農林水産物等販売業や、個人が新たに設備投資や事業を行う際に減税措置が受けられることができます。製造業1件、旅館業3件の新規設備投資に対し利用実績がある。

問

国の奄振基本方針、県の奄振開発計画を読み込むほど「先見性」を備えた職員育成と町長の政治姿勢、継続性と

経営能力、計画行政の重要性は。

答（町長）

計画行政を推進し、奄振を活用しながら社会基盤の整備を行い、職員の資質向上、適材適所の人事を進めているところ。今後も町民の皆さんの意見に耳を傾け、議会と議論を通しながら奄振を活用して本町が将来あるべき姿を見出しながら町政を進めていきたいと思っております。



奄美群島振興開発特別措置法に関する資料

ます。



次の定例会は9月中旬を
予定しています

あなたも議会を傍聴してみませんか？

場所：龍郷町役場 2 F



田畑 浩 議員

観光振興について

問

看板の設置状況について以前にも質問しましたが、集落ごとの名所や行事等を示す看板が、いまだに設置されていないが状況はどうなっているのか。

答（町長）

昨年の6月議会でも質問があり答弁していますが、昨年度集落からの聞き取り調査を実施して、奄振事業において龍郷町観光ガイドブックを作成し、それと連動する形で看板のデザイン委託業務を実施し、本年度集落ごとに1基ずつ設置する予定です。

問

看板設置が1年経過して

いるのに、できないのはなぜか。

答（町長）

集落からの聞き取り調査に時間を要しました。

問

集落1基の看板設置では足りないのではないかと。

答（企画観光課長）

設置場所を考え、まずは1基設置し、その後検討いたします。

問

看板に地震や津波等、緊急時の避難場所の記載はできないか。

答（企画観光課長）

同一看板への記載が難しいければ、別の方法を検討します。

問

観光客の安全対策について、西郷どんの放送や世界自然遺産登録候補地としての知名度や格安航空の乗り入れ等で観光客が増加していますか、自転車で観光している姿が多く見られ、ほとんど車道を走っており、

危険であるが、対策はできないか。

答（町長）

観光客の増加に伴い、レンタカー、レンタサイクル等多くの観光客が集落の隅々まで足を運ぶ姿が多く見られます。危険な箇所にはサインとなる看板等を設置し、早急な対応をしないといけないと思っております。今後、観光業者を中心に安全対策について注意喚起を促すなど、安全面に十分気をつけていきたいと考えています。

問

新たな観光スポットについて、龍郷町観光ガイドブックに掲載されている以外にも数多くの観光スポットがあるが、その調査の計画は。

答（町長）

今年3月に製作した観光ガイドブックに町内の多くの魅力ある観光資源を掲載し、本年度実施の観光案内看板設置と連動させながら

周知を図ります。

問

各地区の浜の呼び方や昔からの言い伝えなど、各集落で調査し伝承していく必要があるのでは。

答（企画観光課長）

新たに更新する時には、情報収集してガイドブックに反映していきます。

イノシシ防護柵について

問

農作物をイノシシから守るために設置している防護柵の状況は。

答（町長）

把握している分では、平成22年度から厚生労働省所管の重点分野雇用創出事業により、当時イノシシ被害が多かった芦徳地区から手広地区の山裾をつなぐ防護柵の設置を行い、その後、平成24年度からは農林水産省所管の鳥獣被害防止対策事業に切り替え、浦・嘉渡・秋名・幾里・戸口・龍



イノシシ防護柵

郷・大勝・川内と年次的に地区を選定して、その地区内での要望のある農家へ防護柵の原材料を支給し、その受益農家に設置管理をお願いしている状況です。今後もイノシシによる農作物の被害防止を図り、地域営農の改善により農家経営の安定に資するよう、防護柵の有効活用を図ってまいります。



徳永 義郎 議員

地域経済振興について

問

働き手不足の解消について、現在と今後の取り組みや長期的な視点からきた雇用情勢について。

答（町長）

少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少は、働き手不足に大きな影響を及ぼしており、町内の飲食業や小売業、サービス業では求人を行ってもなかなか応募がないようです。また、人口統計によりますと、2040年の生産年齢人口は、2010年と比較して46%減少すると予測されており、一方で75才以上の人口は横ばいで推移するとされています。ご質問にあり

問

ます働き手不足の解消については、U・Iターンの定住促進による労働力の確保がまず考えられます。他にも働き方の多様化を図ることで、子育て期間中の世代や高齢者の労働力の活用、在宅就業、副業を推進している企業への支援等が考えられます。

問

町税収入の減少が今後懸念されるが、所得向上への今後の取り組みは。

答（町長）

町税収入を確保するためには、労働者数の減少を抑制することが重要であると考えています。

労働者の数の確保という点では、U・Iターンの定住促進や住宅政策、起業支援が必要であり、労働時間の制約があつて働くことを断念した子育て世代の母親や65歳以上の高齢者でも働きやすい職場環境の整備を支援すること等や副業の推進により一人当たりの収入源

福祉行政について

問

病児保育と病後児保育の現在の状況と将来的取り組み状況は。

答（町長）

病児・病後児保育は、子どもが病気の際に自宅での保育が困難な状態の時、病院や保育所において一時的に子どもを預かり保育を行う事業ですが、事業を実施する受け皿をどのようにするか、医療スタッフの不足など検討事項が多くあり、現在は実施していない状況です。

今年度末に立案する第2期龍郷町子ども・子育て支援事業計画策定に向けて、平成31年2月に未就学児の子どもがいる家庭及び小学生の保護者を対象にアン

地域振興について

問

戸口地区の泥染めや集落遺産を生かした地域活性化についての取り組みは。

答（町長）

戸口地区には、島内外から泥染めを体験する客が数多く訪れています。昨年3月にはNHKの「ブラタモリ」で紹介されるなど、島内における泥染めの本場としての知名度があり、受け

入れ態勢も整っていることなどから、観光資源とした地域活性化の環境が出来ているものと認識しております。

公園の整備等も視野に入れて長期計画に反映したいと考えております。



泥染めの風景



平岡 馨 議員

安全対策について

問

児童生徒の登下校時の事故、事件について具体的な取り組みは。

答（町長）

見守り活動としてはスクールガードとして1名委嘱し年間50回とそれ以外にもボランティアで青パトによる見守り活動を行っており、昨年より警察OBで組織する「警友会」の協力による見守り活動も実施されています。県が推奨している「地域学校協働活動」や各校区で組織されている「地域教育懇談会」等組織の中で学校、保護者、地域、教育委員会がより一層連携し、児童、生徒の安全に取り組んで頂きたいと考えて

います。

問

高齢者による事故等も多いが本町としての見守り体制はどうなっているのか。

答（町長）

事故対策には本人だけでなく、家族や親戚の方、近隣地域の方など身近にいる方々が意識する事で未然に防ぐ事ができると感じている。広く町民への交通安全思想の普及・浸透を図り、ルールの遵守と正しいマナーを実践付けるとともに、関係機関団体と協力しながら、交通事故防止活動に努めてまいります。

避難所の環境対策について

問

まもなく台風季節ですが、災害時に於ける避難所の環境対策は。

答（町長）

避難される方々が肉体的、精神的負担を少しでも軽減し、過ごしやすい環境

対策など課題が残っており、今後も対策を講じなければならぬと認識しております。日常と環境が異なることから、環境の変化や心身のストレス等の多くの問題を抱える事が多いよう環境整備の充実に努めていきたいと考えています。

問

保健衛生対策など避難所に於けるガイドラインの広報も必要だと思うが。

答（町長）

避難所環境対策と併せて指定している集会所の長寿命化対策、建て替え等の計画を含め総合的に判断する必要がありますので、関係課と密に連携を取りながら、ハザードマップの更新を含む防災ガイド、地域防災計画の見直しを行い、随時住民の皆様への周知を検討していきたい。

介護認定の在り方について

問

区分変更の申請があった場合の対応は。

答（町長）

要介護、要支援認定を受けた被保険者は、その介護の必要の程度が現に受けている介護度以外の状態に該当すると認めるときには厚労省で定めるところにより、市町村に対し要介護、要支援状態区分の変更認定の申請をする事ができるとなっている。変更の申し出は、認定調査から介護認定の過程を再度、実施する事になるが認定期間中本人及び家族、介護支援専門員と連携を取り、切れ目なく被保険者に適した支援が提供できるように迅速に対応しています。

問

認定更新で介護度変更となる場合の対応は。

答（町長）

申請により重度や軽度の認定を受ける場合もあるが、重度、軽度どちらにおいても介護支援専門員と連

携し、必要に応じて保険者が相談を受け、切れ目なく認定開始に適正なサービスを受けることができるように対応しています。

紬のPRについて

問

大島紬の発祥の地として大きな看板もあるが紬の良さを今後どの様にPRしていくのか。

答（町長）

龍郷柄、秋名バラ発祥の地として県内外へ発信し、ふるさと納税を活用した陣羽織を制作し、役場窓口職員の着用は勿論、町長室を訪れた方々にも気軽に羽織って頂き、紬のすばらしさを時下体験してもらっています。また、役場側壁面に、紬のデザイン柄を張り付け、「大島紬発祥の地龍郷」を全面的にPRいたします。



伊集院 巖 議員

農業振興について

問

サトウキビの生産量が減少傾向にあるが対策は。

答（町長）

本町のサトウキビの平成30年度生産実績は過去最低の水準となっています。また、65歳以上の農家の占める割合は71.6%と高齢化が進行しており、新規担い手及び後継者確保も大変厳しい状況にあります。このような結果を踏まえ、各関係機関と連携しサトウキビの生産回復に向けた取り組みをいっそう強化することとし、龍郷町さとうきび振興会の各種助成事業の活用促進を図り、栽培面積の維持と反収アップへの取り組みを推進してまいりたいと考えております。

みを推進してまいりたいと考えております。

問

赤徳地区の灌水施設の整備について。

答（町長）

灌水施設を整備するうえで基盤整備が必須条件となっておりませんが、農業振興を図るうえで灌水施設は不可欠であると認識していますので、今後も要望などがございましたら受益者と連携協議しながら、事業採択に向けて取り組んでまいりたいと考えております。

問

園芸作物の振興策は。

答（町長）

本年度県単事業により畝立てマルチ機と堆肥散布機をそれぞれ2台購入し、カボチャ農家の機械による省力化を図ってまいりたいと考えているところです。また、本年度営農指導員を配置し、農家の戸別巡回指導をおこなっており、農家の栽培技術の向上と農家経営

安定に努めてまいります。

総合運動公園の整備について

問

「龍郷町総合運動公園整備計画」が策定されているが、実施に向けての取り組みは。

答（町長）

平成23年度に龍郷町運動公園基本構想検討協議会において検討が重ねられ整備計画が策定されました。その中で議論された趣旨は、日常的レクリエーションを通じて住民の健康維持と活発な交流さらに、災害時には避難救援活動の拠点となる安全なまちづくりの実現でございましたが、用地取得なかなか前に進めない状況で今に至っておりますので、実現可能な構想を議論していただきたいと思います。



中央グラウンド

ふるさと納税について

問

ふるさと納税の寄付額が前年より減少しているが対策は。

答（町長）

平成30年度のふるさと納税寄付件数は2,704件、寄付総額4,834万円でございました。これは平成29年度より1,491件の減少、2,800万余りの減額でございます。大きな減

少理由は、総務省からの通達により返礼品額が3割以下となり、その規定に基づき本町も昨年9月から改正をおこないました。それに伴い他自治体との商品宣伝等の格差付けに遅れをとった事が一番の原因だと考えております。今年度は、ふるさと納税パンフレットを作成し観光案内所等での周知を図るほか、現在委託している業者以外の広告媒体活用も視野に検討していきたいと考えております。



現在委託している「さとふる」

令和元年度

龍郷町職員採用候補者（1次）試験について
龍郷町民間企業等職務経験者職員採用候補者（1次）試験について

標記試験を下記のとおり実施しますので、お知らせします。

1. 採用職種・人員及び受験資格

（1）龍郷町職員採用候補者（1次）試験

原則として、採用と同時に町内に居住できる者及び次の要件を満たす者

試験区分	職 種	採用予定人員	受 験 資 格
行政職	一 般 事 務	若干名	平成元年4月2日から平成14年4月1日までに生まれた者
	土 木	若干名	平成元年4月2日以後に生まれた者で、土木の専門課程を専攻した者
消防職	消防士 （大島地区 消防組合への派遣職員）	若干名	都道府県公安委員会が交付する普通免許以上の自動車運転免許証を所有（令和2年3月31日までに取得できる者を含む）し、平成元年4月2日から平成14年4月1日までに生まれた者で心身ともに健全な者

（2）龍郷町民間企業等職務経験者職員採用候補者（1次）試験

原則として、採用と同時に町内に居住できる者及び次の要件を満たす者

試験区分	職 種	採用予定人員	受 験 資 格
行政職	土 木	若干名	(1) 昭和49年4月2日から平成元年4月1日までに生まれた者 (2) 土木関係の設計・施工管理の職務経験を5年以上有すること。
	農業土木	若干名	(1) 昭和49年4月2日から平成元年4月1日までに生まれた者 (2) 農業土木に関する設計・施工管理の職務経験を5年以上有すること。

2. 試験内容 教養試験・職場適応性検査・作文等
3. 試験日 令和元年9月22日（日）
4. 試験場所 龍郷町役場2階会議室等
5. 受付期間 申し込みの受付は、令和元年7月29日（月）から令和元年8月21日（水）までとする。（郵送の場合も8月21日（水）までの消印に限る。）
6. 受験申込書の配布 龍郷町役場総務課または、龍郷町ホームページにも掲載してあります。
7. 郵便請求の場合 封筒の表に「受験申込書請求」と朱書きし、140円分の切手を貼った宛先明記の角2号封筒（240×332mm）を必ず同封して請求先へ送付して下さい。
8. 問合わせ先
〒894-0192 鹿児島県大島郡龍郷町浦110番地
龍郷町役場総務課人事係
電話 0997-62-3111（内線112）





©Amami City

紬フェスタ 2019 開催

本場奄美大島紬購入費等助成制度を利用して、紬の着物や洋服を仕立ててみませんか？

※本場奄美大島紬購入費等助成制度とは？

本場奄美大島紬協同組合の検査を合格し、地球印の証紙が貼られた反物を購入して仕立てた場合、その費用及び小物（襦袢・草履等）の購入費総額の20～40%（上限あり）を助成する制度です。

産地両組合をはじめ、紬組合女性部・同青年部から多数の反物や小物を展示販売！他にはない品揃えです。充実の体験・学びコーナーも。泥染体験（有料）や機織り、着付け体験、パネルや映像で、楽しみながら大島紬の製造工程や歴史を学びましょう。さらにここでしか見ることのできない本場奄美大島紬の模擬製品検査も実施予定（イベント内容は変更になる場合があります）



日 時 令和元年8月10日（土）～同月11日（日）

10：00～17：00（両日とも）

場 所 奄美市産業支援センター

（奄美市名瀬浦上町 48-1）

主 催 本場奄美大島紬産地再生協議会

問合せ先 奄美市紬観光課 0997-52-1111（内線 5312）

龍郷町企画観光課 0997-62-3111（内線 213）

令和元年度 荒廃農地解消事業の概要

耕作放棄地の解消を支援します

- ・耕作放棄地を借り入れて営農する方の、解消作業費の一部を支援します。
- ・対象農地は、農業委員会の利用状況調査で1号遊休農地となっている農地です。

耕作放棄地の再生

- 対象解消作業（草刈り、障害物除去、深耕、整地、堆肥散布等）

草刈り



障害物除去



深耕



堆肥散布



補助金額

- 解消作業費の1/2以内、又は1万5千円/aのいずれか低いほうを採択し助成する。
- ただし、申込み多数の場合は予算の範囲内で調整して助成する。

事業要件

- 町内在住者で、前年度の町税等を完納していること。
- 使用貸借契約にもとづいて、当該荒廃農地で3年以上営農すること。（自己所有地や1親等所有地は対象外）
- 龍郷町内の農地で、1号遊休農地状態であること。

助成までの流れ

交付申請

チェックリストで要件の確認後、申請書を提出してください。

解消作業の実施

R2年3月末までに作業を完了する必要があります。

実績報告

事業経費を証明する領収書等を添付してください。
掛かった経費は、先に申請者で支払いを済ませる必要があります。

補助金の交付

補助金は実績報告の確認後に支払われます。

申込みについて

○募集期間：R元年10月末まで
龍郷町役場農林水産課へ申請書を提出ください。

詳しくは、龍郷町役場農林水産課へお問い合わせください。

電話：69-4524（直通）

運転にはゆとりを、生きものたちには思いやりを。

8～9月はアミノクロウサギ交通事故防止キャンペーン期間です！

希少種の違法採集防止のための林内パトロールも強化しています。

運転にはゆとりを、
生きものたちには
思いやりを。
希少種の保護にも
ご協力をお願いします。



アミノクロウサギは、世界中で奄美大島と徳之島の森だけに生息している、とても希少な動物です。しかし一方で、毎年多くの個体が交通事故で死亡しているという悲しい現実もあります。ゆとりのある運転を心がけ、生きものたちを思いやりましょう。

☆龍郷町の一部地域はアミノクロウサギの生息域になっています。

☆毎年9～12月頃に事故発生数が増加します。

☆林道ではアミノクロウサギが急に飛び出しても、すぐに止まれる速度で運転をお願いします。

☆アミノクロウサギは林道のみならず、県道・国道上にも出現することがあります。地図上の要注意道路では、実際に事故が発生しています。アミノクロウサギが活動する夜間は特に注意し、ゆとりのある運転をお願いします。

見つけたら必ず連絡を！

ぼくたちの仲間が、道路でケガをしたり、死んでしまっているのを見つけたら、すぐに教えてください！
大切な仲間の情報を集めているよ。

環境省奄美野生生物保護センター
Tel: **55-8620**

夜になったら要注意！

ぼくたちは、日が暮れると目が覚めて朝まで活動しているよ。ぼくたちにとって道路はエサを探すのにちょうどいい場所なんだ。

暗い時間帯は注意しよう！



突然飛び出すよ！

道路の上でじっとしていても、黒っぽい体のせいか、気づいてもらえないこともあるよ。それに突然、道路に飛び出しちゃうんだ。

いつ出会っても驚かないように、いつも気をつけてゆっくり運転してほしいな。



国立公園の決まりと 希少種の保護について お知らせとお願い



捕獲・採取の禁止



トラップ設置の禁止



捕獲・採取には許可申請が必要



当該地域の多くは国立公園として指定されており、特別地域内では昆虫採集のためのトラップなどを設置する場合は事前に許可申請が必要になりますのでご注意ください。また、国立公園区域の内外に関わらず、以下の法律と条令で指定されている希少種や天然記念物（以下の QR コードを参照）を許可なく捕獲・採取等することは禁止されていますのでご注意ください。現在、希少種の違法な採集行為が相次いでおり、林内のパトロールを強化しています。

奄美大島に生息・生育する希少な動植物を守るため、ご理解とご協力をお願い致します。

規制されている動植物の種類を、右のQRコードにアクセスして調べてみましょう。

①法律や鹿児島県の条例で捕獲・採取が禁止されている動植物

②奄美大島5市町村の条例で捕獲・採取が禁止されている動植物



①鹿児島県



②奄美大島5市町村

利用したい人、サポートしたい人が会員になり、次世代を担う子ども達の成長を手助けしていきましょう！

令和元年度

母子・父子の日常生活支援

○利用会員になりましょう(年会費500円)

いざという時に支援が受けられます。

今年度は **育児支援** と **いきいきふれあい事業** をします。

龍郷町母子寡婦福祉連合は
ひとり親家庭の親子の幸せ
のためにみんなで支え合い
協力しあう集まりです。

ひとり親家庭とは…配偶者と死別または離別し、現在も婚姻していない方で、20歳未満の子どもを扶養している家庭をいいます。次のような方も含まれます。・配偶者の生死が不明な方・配偶者から遺棄されている方・配偶者が外国にいるか拘禁されているため、その扶養が受けられない方・配偶者が精神または身体の障害により、長期にわたって働けない方・婚姻によらないで母、父となった方・DVを受けて保護命令が出ている方。

育児支援

■送り迎え 保育園/児童クラブ/学校/習い事

■お預かり 児童クラブや保育所から帰った後
/親の外出時

負担金：1時間70円～150円

生活保護世帯、住民税非課税世帯は0円です。

所得に応じて負担金が異なります。

利用できる日数：月10日以内1日2～3時間

いきいきふれあい事業

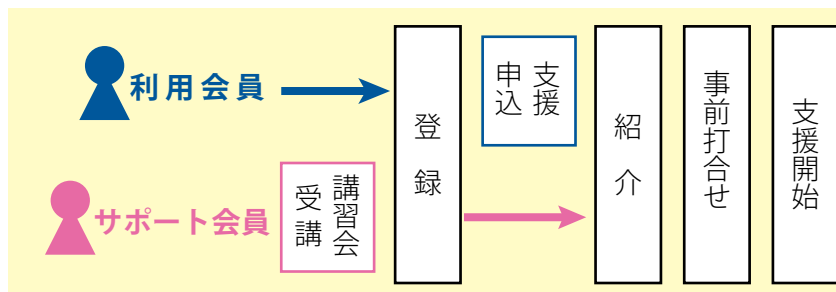
■グランドゴルフ大会

今年度はグランドゴルフ大会を開催します。お子さんと運動の出来る服装で参加して下さい。道具の準備はいりません。簡単なお昼を準備しますのでお気軽に参加して下さい。

日時：8月18日(日) 9:30～12:00

場所：ワークセンター奄美

申込：保健福祉課(川口) ☎69-4514



サポートをしたい人 サポート会員募集

■家事支援 掃除・洗濯・買い物・食事の準備など

■子育て支援 子どものお預かりや送り迎え/会員の病気やケガ/
冠婚葬祭/PTAの会など

サポート会員になるには

■生活支援 講習会を受講します。(ヘルパー3級の資格程度)

■子育て支援 子育て支援の講習会を受けます。
奄美市ファミリーサポート・センターにて
講習会(9月)があります。
龍郷町では、1月～講習会を計画予定しています。

■報酬 あり

問合せ先

龍郷町役場保健福祉課
龍郷町浦110番地

担当：川口みどり

☎69-4516



Tatsugo -20-



8月は 県下一斉 国保税滞納整理 強化月間

国保税は国保制度を支える貴重な財源です。龍郷町を含む県内すべての市町村で、8月と12月を「国保税滞納整理月間」と定め、納税意識を高める取組や納税相談等を実施します。

納期限内納付にご協力ください

納付は、納期内の自主納付が原則です。納期を過ぎた場合は、本来の税金のほかに「督促手数料」・「延滞金」を納めていただきます。

口座振替をご利用ください

納期期日に指定の預貯金口座から自動的に振替ができます。納付忘れや納付のために出かける手間を省くことができ、非常に便利です。ぜひご利用ください。

滞納すると…

国保税が未納になっており再三の催告にも応じていただけない場合は、国保税の負担の公平性を確保する観点から、財産の差押えなどの滞納処分を行う場合があります。また、特別な理由がなく滞納が続くと、通常の保険証より有効期間の短い短期被保険者証や、医療機関で受診の際に一時的に窓口で全額自己負担(10割負担)していただく被保険者資格証明書が交付されます。

医療機関にかからなくても…

医療機関にかからなくても保険税を納付してください。国民健康保険は、万一の病気やケガなどの時に安心して十分な医療が受けられるように、お互いで負担し、助け合う制度です。そのため、加入しているみなさんは、それぞれの収入や加入人数に応じて国民健康保険税を負担しています。**医療機関にかからず保険証を使わなくても、国民健康保険税は納めなければなりません。**

納付が困難…ご相談ください

災害、失業、病気などのやむを得ない事情で国保税を納期限までに納めることができない場合は、お早めに町民税務課へご相談ください。

納付書を紛失した場合

納期が過ぎて納付書が使えなくなった場合や納付書を紛失して納付できない場合は、町民税務課で納付書の再発行ができます。放っておかずに、直接もしくは電話でお問合せください。

■問合先 町民税務課 国保税係 ☎69-4513 (直通)

屋外広告物について

●屋外広告物とは？

みなさんが町で見かける広告塔や看板などを『屋外広告物』といいます。屋外広告物は町の雰囲気や活気を作り、案内の情報伝達手段として役立っています。

●各申請・手続きについて

この屋外広告物を設置・表示するにあたり各手続きが必要となります。

- ・**許可申請**…設置・表示する事前に申請、町の許可が必要です。
- ・**更新申請**…許可書の設置・表示期限を過ぎる場合は、更新手続きが必要です。
- ・**除却(滅失)届出書**…屋外広告物の設置・表示をやめる、又は更新しない場合は、除却(滅失)届出書を町に出し、許可期間内に設置・表示している屋外広告物を撤去しなければいけません。

屋外広告物は道路沿いや個人の土地など良好な景観の形成や公衆に対する危害を防止することから町内のどの場所においても申請が必要となります。申請については、禁止物件や適用除外広告物、様々な基準、適用範囲がありますので詳しくは下記までお問い合わせください。

●屋外広告物の管理義務について

屋外広告物の設置者(申請者・管理者)は、適正な管理を行い、常に良好な状態を維持しなければなりません。

現在、龍郷町には許可期限切れや無許可の屋外広告物の長期放置、老朽化による落下等の可能性がある看板などが多々あり、町の景観を損ない、人や車の通行にも危険を及ぼす可能性があります。設置者は適正な管理を行い、事故等が起らないようにご協力をよろしくお願いします。



無料法律相談のご案内

奄美市と鹿児島県弁護士会が共同で開催しており、龍郷町民の方も無料で相談することができます。

令和元年8月相談日 派遣相談

※必ず電話予約が必要です(先着順)

8/8(木)

大倉克大弁護士

午後1時～午後4時30分

8/22(木)

菅野浩平弁護士

午前9時30分～午前11時30分

8/29(木)

久留倫太郎弁護士

午前11時～正午

午後1時～午後3時30分

◇時間は一人30分間です。(事前に相談内容をまとめておく効果的です。また、同じ人が続けて申し込まれることは遠慮いただいています。)

問合せ先・予約先

奄美市役所市民協働推進課
市民生活係

☎0997-52-1111

(内線1716)

受付 午前8時30分～午後5時15分

◇相談内容が弁護士でよいか分からない場合も市民生活係へご相談ください。

「認知症を理解し一緒に歩む県民週間」講演会

令和元年度「認知症を理解し一緒に歩む県民週間」の講演会のお知らせ

日時 令和元年9月20日(金)
午後12時30分～午後4時

場所 奄美文化センター

内容 ①講話「つなげれば希望が見えてくる(仮題)」講師/認知症の人と家族の会顧問、高見国生氏 ②認知症カフェ体験コーナー ③脳年齢チェック等

対象 一般住民(約300名)

申込み 不要

問合せ先

地域包括支援センター ☎694516

廃蛍光管回収

「廃蛍光管回収」についてお知らせです。令和元年9月から、家庭に出る使用済み蛍光管の分別回収をスタートします。

収集日

A地区(秋名・幾里・嘉渡・円・安木屋場・龍郷・久場・瀬留・玉里・浦)は毎月第2土曜日

龍郷町戦争犠牲者追悼式

B地区(芦徳・手広・赤尾木・屋入・浦字津の子・大勝・川内・中勝・戸口)は毎月第3土曜日
資源ごみ(びん)の回収ボックスのそばに廃蛍光管回収ボックスを設置します。これからは、不燃ごみに出さないでください。みなさまのご理解とご協力をよろしくお願い致します。

問合せ先

生活環境課 ☎694525

来る8月15日の終戦記念日にあたり、本年も日清・日露戦争以降の本町出身戦争犠牲者に対して、町を挙げて哀悼の意を捧げるため、下記日程により追悼式を挙行政致します。町民の皆様におかれましても、戦争犠牲者への追悼と世界の恒久平和を祈念し、ラジオ、テレビの時報に合わせ正午から1分間の黙祷をお願い致します。

日時 令和元年8月15日(木)

午前10時30分より

場所 「平和の塔」前(とおしめ公園内)

農業用廃プラスチックの回収について

大島本島地域農業用廃プラスチック類適正処理推進協議会では農業用廃プラスチック類の適正処理を行うための回収を行います。ハウスビニールや肥料袋、農薬のプラ容器、牧草用ラップフィルムなど使用済みの農業用廃プラスチック類の処理を行う皆さんは、8月8日(木)午前9時から午後4時までの間にあまみ農協龍郷支所購買部の横に印鑑をご持参のうえ搬入してください。

なお、回収費用として1キロ当たり40円の個人負担があります。また、農薬のプラ容器は事前に水洗いをしたうえで搬入してください。

問合せ先

農林水産課 ☎694524

防災行政無線個別受信機の修繕について

新築で新規設置が必要な方、受信状況がわるい方などは、役場総務課へお問い合わせください。

問合せ先

総務課 ☎694511

人口と世帯
10月1日現在(国勢調査)
世帯数 2,434戸(+2)
A. 21 8,130人(+14)
男 2,306人(+9)
女 3,229人(+5)

広報
たつごう
1993/9・10 No.197
発行/龍郷町役場 編集/多田謙 印刷/大島印刷所
〒997-0211 龍郷町道110



まわりの人たちが集まってきた
ひとりで二人...やがて人波ができた
快晴の空に映し出され
今もキラキラと輝く人たち

みんな笑顔で はずんでいる
舟こぎ・芸能・花火...
みんなの心がひとつになったとき
祭りは最高潮に

みんな笑顔で はずんでいる
舟こぎ・芸能・花火...
みんなの心がひとつになったとき
祭りは最高潮に

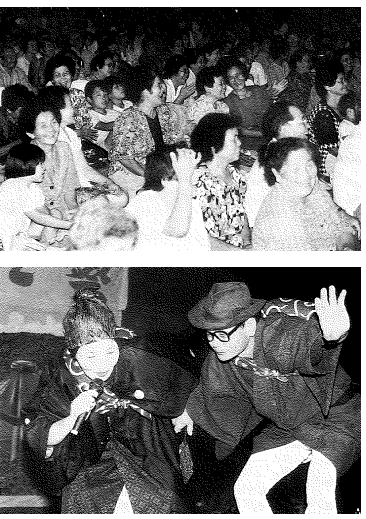
あの日あの時
なつかしや、わきゃシマ

1993
平成 5 年

龍郷ふるさと祭第一回開催 自然観察の森開園

■平成5年9・10月号広報たつごうより抜粋

「まわりの人たちが集まってきた
ひとり二人...やがて人並みができた
祭りの始まりである
快晴の空に映し出され
キラキラと輝く人たち
みんな笑顔で はずんでいる
舟こぎ・芸能・花火...
みんなの心がひとつになったとき
祭りは最高潮に



すべてを忘れ 祭り一色の一日
たくさんの人たちが喜び
感動したのである
やればできる...と
笑みがこぼれる」

第一回開催は台風一過の好天に
恵まれた9月5日開催されまし
た。「本町では、これまで町をあげ
ての祭がなかったため、町民総参
加による地域づくりと心の和を拡
げようと、"おこそうふるさと、心
をひとつにして"をスローガンに
舟こぎ競争や素人芸能笑などで大
いに盛り上がりました。」

舟こぎ競争は、男子400m優
勝赤尾木壮年団A、女子300m
優勝はみなみクラブ、二位には役
場アマゾネスの文字。子どもの部

は当時、なかったようです。

素人芸能笑にも賞がありまし
た。優勝・植田秀志&浜田スマ子
(戸口)「九段の母」写真参照。特別
賞にハッスル賞やセクシー賞、珍
プレー賞など多数設けられ、もり
あがった様子です。

■同年7月号には「学校給食、普通
牛乳へ切り替え」の見出し。「PT
Aを中心に従来のL牛乳から普
通牛乳に切り替えを望む声が高
かったことから...」(中略)導入に
伴い、町では、冷蔵庫と保冷車一台
を購入」

子どもたちには「おいしい」と好評
で、「もっとおかわりができたらいい
のに...」と声もあったそうです。

※注① L牛乳とはロングライフ牛
乳のこと。内
側にアルミ
箔を張り、超
高温殺菌、無
殺菌充填し
たもので、常
温で通常保
存が可能。

植田秀志&浜田スマ子

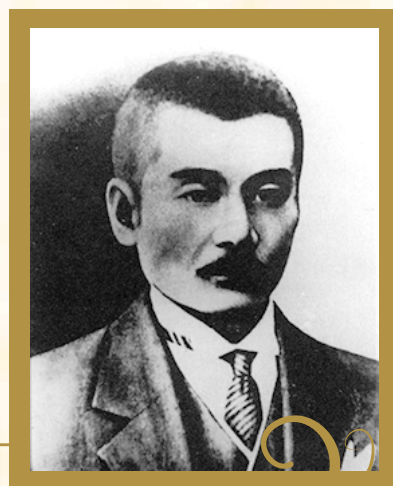
「新鮮でおいしい」と好評

本町は、明治から昭和にかけて学者、政治家をはじめ法曹界などで活躍した偉人を多く輩出した「人材の町」として知られています。その偉大な功績を称え、10名が名誉町民として表彰されています。本誌では1名ずつ紹介いたします。

第2回 龍郷町名誉町民

おおしま しん
大島 信

1853年～1899年 中勝出身



● 経歴 ●

- 1871 上鹿して本学校(造士館)に学ぶ
- 1877 藩閥の本校造士館を卒業
東京大学農学部的前身、駒場農学校に入り、
専修学校(専修大)で法律・理財学を学ぶ
卒業後埼玉県庁勤務を経て内務省出仕
- 1887 「大島郡糖業意見書」を書き上げる
- 1892 衆議院議員に就任
- 1898 衆議院議員退任(3期、6年)
佐賀県東松浦郡長となる

● 世の中の動き ●

1871年(明治4年)
廃藩置県

1889年(明治22年)
大日本帝国憲法発布

● 表彰 ●

2005 龍郷町名誉町民

● 功績 ●

父は富和志、母は愛千代。母の実家は龍郷の龍家であり、信が幼い頃、西郷隆盛から「正熊カナ」と呼ばれ、かわいがられていた。1871年には上鹿し、本学校へ進学。当時差別的に奄美の人が一文字姓だった中、学年一番の成績であった信(当時は信正熊)には二文字姓が許され、大島出身であることから大島信となった。

奄美初の中央官庁役人であった信を島の人たちは頼りにしていました。そして奄美の糖業改良と流通改善ため書き上げた

のが「大島郡糖業意見」です。

1892年には衆議院議員に就任。奄美に海底電信が引かれたのは成果の一つである。

1899年3月、数え47歳の若さで死去。東京から島を想い、奄美群島の振興に尽くしてきた信には、後進子弟の指導にも心血を注ぎ人材の町龍郷の道をつけた。彼を慕う在京の青年たちの中から奄美青年会が生まれ、のちの東京奄美会の母体になったといわれている。

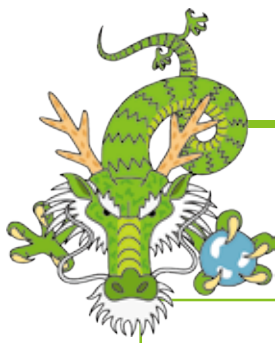
◇参考文献◇『郷土の先人に学ぶ』文芸ブリ
ント社1981年ー大山麟五郎、「郷土愛に燃え、奄美に海底電信を通し、糖業の振興と流通改善に努力した大島信」

2018年11月に中勝で行われた「大島信生誕165年祭」には多くの親族も集まった。



りゅうがく館だより

令和元年 8 月号



子どもたちは夏休み真っ最中!大人たちは夏バテ気味ですね☆
事故やケガはもちろん、ハブにも気を付けて楽しく過ごしましょう♪



おねがい

図書室の本は町民の大切な財産です。

大切に扱い、返却期限を守りましょう。もし汚してしまったり、失くしてしまったりした場合には、お早めにご連絡ください。

● 一般書 ● 新着図書案内 ● 児童書 ●

- ・『仁術先生』(大活字本)(渡辺 淳一/埼玉福祉会)
- ・『エキゾチックが素敵 トルコ・イスタンブールへ』
(クラリチェ・洋子/イカロス出版)
- ・『いまさら翼といわれても』(米澤 穂信/KADOKAWA)
- ・『ノーサイド・ゲーム』(池井戸 潤/ダイヤモンド社)
- ・『図説 ハプスブルク帝国』(加藤 雅彦/河出書房新社)
- ・『リンゴのお酒 シードルをつくる』
(アドバンスブルーイング/農山漁村文化協会)
- ・『天才はあきらめた』(山里 亮太/朝日新聞出版)
- ・『花ごよみ365日』(雨宮 ゆか/誠文堂新光社)
- ・『希望の糸』(東野 圭吾/講談社)

他、合計62冊

- ・『ころべばいいのに』(ヨシタケ シンスケ/ブロンズ新社)
- ・『パンダ銭湯』(tupera tupera/絵本館)
- ・『よのなかルールブック』(高濱 正伸/日本図書センター)
- ・『すいか!』(石津 ちひろ/小峰書店)
- ・『おーい、こちら灯台』(ソフィー・ブラッコール/評論社)
- ・『せきらんうんのいっしょう』
(荒木 健太郎/ジャムハウス)
- ・『海の生きもの つかまえたらどうする?』
(杉本 幹/偕成社)
- ・『ざしきわらし』(京極 夏彦/汐文社)
- ・『James and the Giant Peach』
(Roald Dahl/Puffin Books)

他、合計43冊

雑誌スポンサー制度、始めました

7月より、りゅうがく館図書室に雑誌『日経トレンディ』・『ナショナルジオグラフィック』が配架されることとなりました。この2誌は町田酒造(株)が雑誌スポンサーとして寄贈したもので、同館では初の試みとなります。町田酒造(株)は、この取り組みが町と結ぶ包括的業務協力提携への寄与のほか、同社のCSR活動の一環となることを期待しています。7月9日に行われた贈呈式で、中村安久社長は「他の企業にも同様の取り組みが広がるといいですね」と語りました。雑誌スポンサー制度は、スポンサーが公共図書館等の雑誌の購入代金を負担する代わりに、雑誌カバーに広告やスポンサー名を表示することができる仕組み。現在りゅうがく館では、スポンサーとなる企業・商店・団体(個人は除く)を広く募集しておりますので、関心をお持ちの方はぜひお問い合わせください。



～ 雑誌スポンサーになるには ～

- ① スポンサーの対象…企業・商店・団体等(個人は除く) ② 提供する雑誌…当館作成の雑誌リストの中から1誌以上を選んでいただきます。③ 提供期間…原則1年間とします。(図書館またはスポンサーに解約の意志がない場合、自動更新) ④ 支払い方法…スポンサーが、書店等に購入費を支払います。(1年間分を前納)

えくぼはこいのおとしあな♪



重枝 香壺くん H30.7.9生

浦 父 一馬 母 薫

てんにい、ちいにだ〜いすき！



木上 葵湖ちゃん H30.7.12生

中勝 父 睦希 母 優

わきゃシマの玉黄金

Happy Birthday

7 JULY

満1歳になりました。
この子たちに誇れる町を
みんなでつくりましょう。



踊ることがだ〜いすき♪



沖島 亜咲ちゃん H30.7.17生

赤尾木 父 健人 母 麻矢

お父さん大好き♡



田畑 希乃佳ちゃん H30.7.20生

大勝 父 彰仁 母 香澄



Hope Lights
Our Way

希望の道を、つなごう。



東京2020オリンピック聖火ランナー募集

2020年4月28日～4月29日 鹿児島県実行委員会

募集期間：2019年 7月 1日(月)～8月31日(土)

走行場所は未定(奄美市もコースの一部ですが、島外の可能性もあり)。旅費全額自己負担。

詳しい募集要項、応募用紙は企画観光課、または県、町のホームページをご覧ください。



アカショウビン

奄美大島ではこの鳥がやってくるとそろそろ梅雨入りする事を教えてくれると言えばアカショウビンですね。全身が赤く「キョロロロ～」と鳴き、早朝と夕方によく鳴く鳥です。カワセミの仲間になる鳥です。自然観察の森にはそう多く来ないですが、雨や霧が出ている時に訪れるので、観察出来たりします。ぜひ一度探しに来て下さい。

お誕生おめでとうございませう

敬称略

【6月届出】

保護者

里心華

祐太 中戸口

ご冥福をお祈りいたします

【6月届出】

中山 勝義

(88) 嘉渡 龍郷の里

山口 テル

(87) 浦 愛寿園

泉 イト江

(97) 浦 愛寿園

窪田 テイコ

(94) 玉里

香典返しお礼

坂下龍一(故坂下ミスエ)

愛寿園・社会福祉協議会

窪田フデ子(故窪田テイコ)

社会福祉協議会

竹山幸広(故竹山竹二)

社会福祉協議会

竹山エズ子(故竹山竹二)

赤尾木老人クラブ

大司純彦(故大司フジエ)

瀬留集落・社会福祉協議会

村田茂勝(故村田セツ)

愛寿園・赤尾木老人クラブ

TATSUGO 目より情報



サッカースポーツ少年団、FC龍郷が町グラウンドの奉仕作業を実施。ありがとうございます。

8月のどうくさ会

明記がない場合は14時～

1(木) 安木屋場・瀬留
中勝・赤尾木

3(土) 玉里

5(月) 浦

6(火) 上戸口

7(水) 円

8(木) 中戸口・中勝

12(月) 芦徳

13(火) 嘉渡

14(水) 円

15(木) 安木屋場
瀬留・中勝

16(金) 川内

17(土) 玉里

20(火) 下戸口・上戸口

21(水) 円・大勝・赤尾木

22(木) 中勝 12時～

27(火) 嘉渡

28(水) 円



6月7月来庁者

町長室で記念写真

皆さまも是非いらしてください



宮田豊さん 御一行



岡江保彦さん 御一行



三浦一広さん 御一行

日	月	火	水	木	金	土
■ 楽しく体操教室 ・龍郷 毎週木曜 午前 9:30～ ・大勝 毎週木曜 午後 2:00～ ・川内 毎週金曜 午後 7:30～ ・安木屋場 午後 2:00～ ・秋名/幾里 毎週木曜 午後 2:00～ ・芦徳 午後 2:00～				1 ■ 乳児健診 どうくさあや館12:30～ ■ 楽しく龍・秋・大 ■ どうくさ会 瀬留 安木屋場・赤尾木	2 ■ 保健センター開放 ■ 楽しく川	3 ■ どうくさ会 玉里
■ どうくさ会 14:00～16:00 ■ でいでいクラブ リゅうがく館 13:30～16:00 ■ 保健センター開放 乳幼児対象 10:30～16:00						
4	5 ■ 保健センター開放 ■ 楽しく芦 ■ どうくさ会 浦	6 ■ どうくさ会 上戸口	7 ■ どうくさ会 円	8 ■ じゃがいも会 どうくさあや館13:30～ ■ 楽しく龍・秋・大・安 ■ どうくさ会 中勝・中戸口	9 ■ 保健センター開放 ■ 楽しく川	10
11	12 ■ どうくさ会 芦徳	13 民児協定例会 ■ どうくさ会 嘉渡	14 ■ どうくさ会 円	15 ■ 戦争犠牲者追悼式 とおしめ公園内 平和の塔前10:30～ ■ 楽しく龍・秋・大 ■ どうくさ会 安木屋場・瀬留	16 ■ 保健センター開放 ■ 楽しく川 ■ どうくさ会 川内	17 ■ どうくさ会 玉里
18	19 ■ 保健センター開放 ■ 楽しく芦	20 ■ どうくさ会 下戸口・上戸口	21 ■ どうくさ会 円・大勝・赤尾木	22 ■ 楽しく龍・秋・大 ■ どうくさ会 中勝	23 ■ 保健センター開放 ■ 楽しく川・安	24
25	26 ■ 保健センター開放 ■ 楽しく芦	27 駐在員会 ■ お腹スッキリ運動教室 どうくさあや館19:30～ ■ どうくさ会 嘉渡	28 ■ どうくさ会 円	29 ■ 歯科検診 2.6歳・5歳児 どうくさあや館13:00～ ■ 楽しく龍・秋・大	30 ■ 保健センター開放 ■ 楽しく川	31

花火・火遊びによる火災の防止

1. 花火は楽しく安全にあそびましょう

夏の風物詩「花火」。子供たちにとって楽しみな季節となりました。しかし、気軽に楽しめる花火も、取扱いを誤ると火災や火傷などの事故につながりかねません。火災や火傷などの事故が起これないよう十分注意し、夏の楽しい思い出にしましょう。

花火を安全に楽しむポイント

- ① 気象条件を考え、風の強い時は花火をしない。
- ② 燃えやすいものがなく、広くて安全な場所を選ぶ。
- ③ 子供だけでなく大人と一緒に遊ぶ。
- ④ 説明書をよく読み、注意事項を必ず守る。
- ⑤ 水バケツを用意し、遊び終わった花火は必ず水につける。

2. 火遊びによる火災を防止しましょう

子供の火遊びによる火災は、大人がいない時に発生することが多く、そのため火災の発見が遅れ、火災が拡大する要因にもなります。火遊びによる火災をなくすためにも、大人が子供たちに対して火災の恐ろしさや正しい火の取扱い方を教える必要があります。子供の火遊びによる火災が起これないよう、もう一度子供たちと火災の恐ろしさ・火の取扱いについて話し合うようにしましょう。

火遊び

- ① 子供だけを残して外出しない。
- ② ライターやマッチを子供の手の届くところに置かない。
- ③ 子供だけで火を取扱わせない。
- ④ 火遊びをしているのを見かけたら注意する。
- ⑤ 火災の恐ろしさ・火の取扱い方法についてきちんと教育する。



アマミノクロウサギに注意 !!

よーりっくわ走ってくりんしよれ～

アマミノクロウサギ交通事故発生件数（奄美大島内）

今年：8件 2019.7.3 現在

問合せ先：生活環境課 ☎69-4525

